

2021年度 神戸ベルエベル美容専門学校 ブライダルスタイリスト科 カリキュラム

科目			1年次	2年次	3年次	1～3年計	実務経験者が 行う授業
必修科目	ビューティ	ヘア	192	74	239	505	×
		メイク	165	69	145	379	×
		カウンセリング	21	0	0	21	×
		トータル	0	0	200	200	×
	洋装	洋装	48	20	0	68	○
		和装	189	79	135	403	○
	知識	ブライダル知識	61	0	0	61	○
		パーソナルカラー	0	0	50	50	×
		ユニバーサルマナー	8	0	0	8	×
	サロン		40	444	4	488	×
選択課目	HR		203	203	215	621	×
	マナー		13	17	0	30	×
	就職		18	88	0	106	×
	選択	1年生研修	30	0	0	30	×
合計			988	994	988	2970	—

基本情報			
講義名	ビューティ(ヘア)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	192	74	239

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルにおけるヘアセットの知識・技術を重点に学習する。基礎から学び、お客様の要望に応えその人それぞれに似合うセットを提案し、それを具現化できるまでを当該授業にて学ぶ。
授業の到達目標	ヘアセットに関する基礎技術・知識の習得、日本髪技術・知識の習得、応用スタイル技術の習得することを目標とする。

具体的内容		
項 目	時間	内 容
道具使い方・名称	1	・授業において身だしなみについて説明 ・ブラシ・コーム・ダッカール・ピン類・クランプ・ウィッグ(持ち方・扱い方・使い方の説明) ・実践
ブロッキング	1	・頭の各ポイントの説明 ・スライスの分け方説明(テール、歯先での分け方) ・ダッカールの使い方、実践
ホットカーラー	20	・ホットカーラーの基本 使い方、スライスの理解 シェーブやステムの注意点 毛先の注意・逆巻き ・アップ巻き 配列の説明、各パートでのタイム取り、チェック ・確認テスト
ピン打ち	1	・ピンの種類と使い分けについて ・平打ち、隠しピンの方法説明 ・ピン打ちデモ・実践
スタイリング剤の 使用方法	1	・スタイリング剤の種類と使用方法
逆毛の立て方	1	・逆毛の目的理解 ・コームワーク・パネルステムについて説明 ・デモ・実践
毛たぼの作り方・使い方	1	・毛たぼの役割について説明 ・作り方説明・デモ・実践
一束結び	2	・ブラシの使い方の復習 ・ゴムの使い方説明・デモ・実施 ・ネープP・バックP・ゴールデンPで一束レッスン実践
面だし	30	・土台作り(ブロッキング～毛たぼ) ・右ネープ右サイド、左ネープ左サイドの説明・デモ・実践 ・トップスライス・逆毛・毛先の処理の説明・デモ・実践 ・トータル復習タイム取り実践 ・確認テスト、復習テスト対策

具体的内容		
項 目	時間	内 容
ヘッドアクセサリーの付け方(ティアラ・クラウン・ベール)	1	・ピン打ち説明・実施 ・オニピン・ネジピン使用方法説明・実践
ネープシニヨン	20	・毛たばの作り方・実践・ブロッキングの説明・実践 ・トップ・サイド・ネープの説明・実践 ・面、ピン打ち、バランスの確認 ・復習 タイム取り
かんざしの付け方	1	・付け方説明・実践 ・バランスの確認
コテ	5	・内巻き外巻き説明・デモ・実践 ・リバース巻きフォワード巻き説明・デモ・実践 ・波ウェーブ、前髪の説明・デモ・実践
アレンジ	7	・三つ編み説明・デモ・実践 ・編み込み説明・デモ・実践 ・フィッシュボーンの説明・デモ・実践 ・くるりんぱの説明・デモ・実践
ストレートアイロン	3	・前髪・ストレートの説明・デモ・実践 ・内巻きの説明・デモ・実践 ・外巻きの説明・デモ・実践 ・波ウェーブの説明・デモ・実践
トレンドヘア	10	・全頭コテで巻く、ブロッキングの説明・デモ・実践、スタイル作成、タイム取り
カールアップ	38	・バック抱き合わせ(土台～毛たば)説明・実践 ・抱き合わせ(左右バックサイド抱き合わせ)説明・実践 ・抱き合わせ(サイドビニング)説明・実践 ・トップ3等分のビニング説明・実践 ・カールの作り方・スタイルバランス ・各セクションのタイム取り ・トータルバランスタイム強化 ・確認テスト 結果をもとに期末テスト対策
ヘッドアクセサリーの付け方	1	・ピン打ち説明・実践、オニピン・ネジピン使用方法説明・実践
アシスタント業務	2	・ヘルプの仕方・立ち位置の説明
カウンセリング技術	18	・カウンセリングシートに決定したスタイル記入、実践、チェック、手直し ・確認テスト
メンズヘア	3	・道具の説明・種類・用途、ドライ方法の説明・デモ・実践 ・展示ウィッグを基にスタイル作成 デモ⇒実践
クイックチェンジ	30	・ホットカーラー10分タイム取り ・面だし復習 ・チェンジスタイル、カールバランスの説明・デモ・実践 ・面だし～クイックチェンジ実践、タイム強化 ・確認テスト
人頭似合わせ①	17	・似合わせの定義(カールアップ) ・相モデルでの実践 ・ラフ案を作成し実践 ・ラフ案の記入(衣装:色打掛) ・ラフ案を基に実践、相モデルにて実践 ・期末テストに向けてランク付け ・テスト対策(タイム強化)
ヘッドアクセサリーの付け方(人頭)	2	・ピン打ち説明・実践、オニピン・ネジピン使用方法説明・実践
人頭似合わせ②	20	・色打掛を着用することを意識しサロン実習時に使用する カウンセリングシートに記入 ・実践→チェック→手直し ・期末テストに向けてランク付け ・テスト対策(タイム強化)

参列ブロー	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ブローの知識 ・ブラシとドライヤーの持ち方、説明・デモ・実践 ・動かし方の説明・デモ・実践 ・前髪の立ち上がり説明・デモ・実践 ・サイドのブロー説明・デモ・実践 ・全頭仕上げタイム取り 30分 ・確認テスト
人頭似合わせ③	14	<ul style="list-style-type: none"> ・指示書の作成、指示書を基に相モデルにて実践 ・確認テスト
模写ヘア①	9	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイル提示、ラフ案使用法の説明 ・ラフ案記入、ラフ案を基にスタイルの作成 ・チェック→手直し ・確認テスト
新日本髪	50	<ul style="list-style-type: none"> ・新日本髪について説明 ・毛たばの作り方説明・実践 ・ブロッキングの説明・実践 ・髷の説明・実践 ・髷(左右)説明・実践 ・前髪説明・実践 ・まげ説明・実践 ・トータルレッスンタイム強化 ・かんざしの付け方(びらかん)説明・実践 ・確認テスト 確認テスト結果を基にテスト対策
面だし 復習	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキング～土台作り復習 ・左右ネープ抱き合わせ復習 ・左右サイド抱き合わせ復習 ・トップ～トータル仕上げまで復習 ・面だしトータル復習 タイム取り ・確認テスト
カールアップ復習	25	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキング～土台作り復習 ・左右ネープ抱き合わせ復習 ・左右サイド抱き合わせ復習 ・カールの出し方復習 ・カールアップトータル復習 タイム取り ・確認テスト
人頭似合わせ④	25	<ul style="list-style-type: none"> ・指示書の作成、指示書を基に相モデルにて実践 ・チェック→手直し→交代 確認テスト
模写ヘア②	20	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイル提示、ラフ案使用法の説明 ・ラフ案記入、ラフ案を基にスタイルの作成 ・チェック→手直し ・確認テスト、学期末テスト対策、強化
試験対策	90	<ul style="list-style-type: none"> ・試験対策 弱点強化、タイムアップ

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	ビューティ(メイク)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	165	69	145

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する基礎的な知識・技術を1から学習し、そこから応用的なメイクの知識技術を学ぶ。ブライダル特有のブライダルメイクや和装に合わせた水化粧の技術まで、就職後即戦力として通用する技術を学習し身に付ける。
授業の到達目標	メイクに関する基礎知識・技術の理解と習得、ブライダルメイク・イメージメイクの技術習得、メイクカウンセリングに関する知識・技術の習得、水化粧知識・技術の習得、応用メイクの習得を目標とする。

具体的内容		
項 目	時間	内 容
道具の使い方 道具の名称	2	授業するにあたって身だしなみ説明 (髪の毛、ネイル、アクセサリ、靴、まつげパーマ・エクステ) 教材の破損の有無確認・名前シールを貼る・道具の名称・道具の使い方
化粧品の定義	1	化粧品の定義、スキンケアの必要性
皮膚の構造	2	皮膚の構造と働き 3ステップによるスキンケアシステム、スキンケアテクニック
クレンジング・スキンケア 技術	12	・ポイントクレンジング リップクレンジング、アイクレンジング デモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・フェイシャルクレンジング オイル塗布、オイル乳化、ふき取り、ティッシュオフデモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・リップクレンジング～ティッシュオフまでのトータル タイム計測 実践⇒チェック⇒交代 ・ローショントーンニング、クリームトーンニング 実践⇒チェック⇒交代 ・確認テスト
ベース技術	18	・アンダーベースの塗り方 ・ファンデーションの塗り方 ・コンシーラーの説明・塗り方 ・フェイスパウダーの塗り方 ・確認テスト(ローショントーンニング～ハイライト・ローライト)
ポイントメイクの基本 ナチュラルメイク	3	・ポイントメイクが与える印象 ・ナチュラルメイクとは
アイブロウ	8	・ハードフォーミュラの削り方 デモ⇒実践⇒チェック ・理想的な眉のプロポーション、眉の描き方(ナチュラル) デモ⇒実践⇒チェック⇒交代
アイシャドウ	8	・ブラシの持ち方 ・アイシャドウの取り方 ・アイシャドウの塗り方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代
アイライン ビューラー マスカラ	8	・アイラインの引き方 ・ビューラーの使い方 ・マスカラの塗り方(上下) デモ⇒実践⇒チェック⇒交代
チーク リップ	5	・チークの入れ方 ・リップの塗り方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代

具体的内容		
項 目	時間	内 容
スキンケア技術 ～ リップ	14	<ul style="list-style-type: none"> ・トータル手順確認・タイム計測 スキンケア～リップ ・確認テスト ・確認テストの結果をもとに弱点強化
理想の顔型 判断方法・修正技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・顔型の特徴を理解する ・判断方法 ・理想の顔型を理解する ・ローライト・ハイライトで顔型修正を理解する デモ⇒実践⇒チェック⇒交代
ブライダルメイク	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルメイクの定義 WDメイク・CDメイクのイメージを理解する イメージ別のブライダルメイクを理解する ・ブライダルメイクの方法 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・復習
イメージメイク	40	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージメイクの定義、イメージ別の色味・方法の理解 ・イメージメイク【クール】【フェミニン】【エレガント】【キュート】の方法 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・確認テスト ・復習
模写メイク	14	<ul style="list-style-type: none"> ・模写メイクの方法の理解・実践 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・確認テスト ・復習
メイクカウンセリング	10	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングとは、カウンセリングの仕方、カウンセリングシートの使い方 ・メイクカウンセリングの実践 ・カウンセリングシートを基にメイクの実践 ・復習
メイク実践	14	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングシートを基にメイクの実践 ウェディングドレス、カラードレス ・確認テスト
メンズメイク	8	<ul style="list-style-type: none"> ・メンズメイクの方法 スキンケアの仕方 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 ポイントメイクの仕方
つけまつ毛	1	<ul style="list-style-type: none"> ・つけまつ毛の扱い方、つけ方
ボディメイク技術	4	<ul style="list-style-type: none"> ・刷毛の使い方 ・ケーキファンデーションの使い方・塗り方 ・腕・手・首の塗り方、実践

具体的内容		
項 目	時間	内 容
水化粧	30	<ul style="list-style-type: none"> ・水化粧の知識 和装メイク(水化粧)とは 洋装メイクと和装メイクの違い ・水化粧の技術の習得(ベースメイク) 道具の説明・使い方 ローショントーンニングの仕方、スティックファンデーションの塗り方 チークの入れ方 フェイスパウダー(おしろい)の塗り方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代 ・水化粧の技術の習得(ポイントメイク) ローショントーンニング〜おしろいまでの復習 ケーキファンデーションの塗り方(顔・手・首) アイブロウの形(笹眉)・描き方 チークの塗り方 アイメイクの仕方 リップの形・描き方 ・水化粧技術の習得トータル ・水化粧風メイク、ベースメイク、ポイントメイク スキンケア〜ベースメイク、アイブロウの描き方、アイメイクの仕方 スキンケア〜アイメイク復習、チークの入れ方、リップの塗り方 ・ポイントメイクの弱点強化 ・確認テスト
ボディメイク技術	5	<ul style="list-style-type: none"> ・刷毛の使い方、ケーキファンデーションの使い方塗り方 ・腕、手、首の塗り方、実践
復習	36	<ul style="list-style-type: none"> ・模写メイク ・ブライダルメイク ・確認テスト
イメージメイク	60	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージメイクの定義、イメージ別の色味・方法の理解 ・イメージメイク【エレガント】【クール】【キュート】【ナチュラル】【フェミニン】の方法 メイクカウンセリング、ラフ案作成 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方 ・確認テスト ・復習
テーマ別メイク	60	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別メイク【白無垢】【色打掛】【カラードレス】【ウェディングドレス】 ラフ案作成 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	ビューティ(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	21	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルスタイリストとして必要なお客様の要望に的確に対応できるヒアリング力やその他基礎知識を学ぶ
授業の到達目標	基礎知識の習得、ヒアリングに基づく提案力の習得を目的とする。

具体的内容		
項 目	時間	内 容
接客について	1	接客時の基本マナーの説明・理解、接客用語と敬語の説明・理解
基礎知識	4	カウンセリングの目的・流れ、ヒアリングの目的・理解・デモ・実践 提案の必要性、イメージワードの理解、イメージに合うドレスのラインの確認
カウンセリング実践	14	衣装小物、メイク、ヘアのカウンセリング～提案の実践 カウンセリングシート使用方法 衣装～ヘアメイクのカウンセリングの実践 ブーケのカウンセリングの実践
生花の知識	2	生花と造花の違い、ブーケの種類とイメージ、ブーケのカウンセリングの実践

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(トータル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	200

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ヘア、メイクの授業で得た知識、技術を総合的に学び、トータルコーディネイトの技術を学ぶ。お客様のイメージ別、衣裳別のコーディネイトや似合わせ技術を習得する。
授業の到達目標	イメージ別トータルコーディネイト、衣裳別トータルコーディネイト、似合わせトータルコーディネイトの習得を目的とする。

具体的内容		
項 目	時間	内 容
イメージ別 トータルコーディネイト	75	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ別の種類(イメージワードの確認・復習) ・【フェミニン】【エレガント】【クール】【キュート】 イメージとその定義の確認復習 ヘアメイクのラフ案の作成、ヘアメイク実践 ・確認テスト
衣裳別 トータルコーディネイト	77	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレスライン別、素材別イメージ ライン別イメージの確認、復習 ドレスの素材のイメージの確認、復習 ・Aライン、プリンセスライン、カラードレス ドレス、小物の選択、選択したドレスのイメージに合ったラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイク実践 ドレスフィッティング、小物装着 写真撮影 確認テスト ・白無垢 水化粧風メイクの復習 衣裳に合ったラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践 白無垢 着付け、髪飾りの装着、写真撮影 ・色打掛 色打掛・5点セットの選択、衣裳に合わせたラフ案の作成 白無垢 着付け、髪飾りの装着、写真撮影 ・留袖 着物のTPOの復習、衣裳に合ったラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践、タイム 振袖着付け、髪飾りの装着、写真撮影 ・披露宴会場別コーディネイト 披露宴会場のコーディネート別のイメージを説明・理解する 会場に合った衣裳・小物の選択、衣裳に合ったラフ案の作成 衣裳着付け、写真撮影

具体的内容		
項 目	時間	内 容
似合わせ トータルコーディネート	48	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の顔型判断方法 顔型の特徴の復習、判断方法、理想の顔型の理解 ・理想の顔型修正技術 顔型修正方法の復習 ・模写スタイルの似合わせ 指定されたスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践、タイム ・雑誌イメージ別 イメージに合ったスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践タイム 雑誌のイメージに合った写真撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(洋装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	48	20	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な洋装に関する知識、ドレスフィッティングに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。 知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。
授業の到達目標	ドレス・タキシード等の洋装に関する基本知識とフィッティング技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
ドレスの知識・理解	4	ドレス歴史の説明、ドレスライン・小物説明
ドレスのサイズ	4	サイズ表記の見方・種類、サイズの合わせ方の説明・理解
ドレスの運び方 パニエの片付け方の理解	2	ドレスの扱い方・持ち方、パニエの片付け方のデモンストレーションと実践 確認テスト
インナー装着	2	インナーの重要性理解フィッティングのデモンストレーション(相モデルでの実践)
ドレスとパニエの セッティング	1	美しく着付ける為のセッティングのデモンストレーションと実践
ドレス着付け	9	インナー装着からパニエとドレスセッティングも含めドレスフィッティングまでの流れをデモンストレーション(相モデルでの実践)
インナー装着～ ドレス着付け	6	確認テスト
体に合った補正	2	色んな体型の方へも対応できるようにパターン説明(相モデルで実践)
小物の付け方	2	ベール・グローブ・ヘッドパーツネックレス・イヤリングの付け方 デモ・実践
アテンド	2	ドレスの持ち方・持たせ方 デモ・実践 靴の履かせ方 デモ・実践
ドレスチェンジ	5	ドレスチェンジの準備方法の説明・実践、相モデル
タキシードの知識	4	タキシードの種類・小物を実物を見せて説明
サイズの見方	1	表記の説明、サイズ合わせの方法の説明
タキシード フィッティング	4	タキシードの準備方法・片付け方デモ・実践 タキシードフィッティングのデモ・実践 ブートニアの付け方・靴の履かせ方デモ・実践
挙式 アテンド業務	6	挙式アテンドの役割・注意事項の説明 挙式入場前の衣裳・ヘアメイクのチェックするポイント説明と実践 挙式中のアテンドの立ち位置、手袋、ブーケを受け取るタイミング トレーンのさばき方の説明と実践、確認テスト
撮影 アテンド	7	・洋装、和装 撮影アテンドの役割、注意事項、撮影の流れの説明 移動時のアテンド、誘導方法の説明、実践 撮影時の衣裳、ヘアメイクのチェックポイント、片付けの説明・実践

具体的内容		
項 目	時間	内 容
披露宴 アテンド業務	7	披露宴アテンドの役割、注意事項の説明 披露宴入場前の衣裳、ヘアメイクのチェックするポイント説明と実践 アテンドの立ち位置、トレーンのさばき方、椅子の座らせ方、立たせ方の説明と実践 ケーキ入刀、各卓写真、謝辞時のアテンドの仕方の説明と実践 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(和装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	189	79	135

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な和装に関する知識、和装着付けに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。検定対策も行う。
授業の到達目標	和装に関する基本知識と着付けの基礎技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
着物・着付けの知識	12	・着物の基本 着物と帯の種類、着物の小物、羽織とコート、男性の着物、子供の着物、紋 ・振袖の知識、留めそで着付けとの違いの理解 ・知識の復習
下着補正	2	肌着・裾除け・足袋の着せ方 タオル補正・コットン補正の仕方
留袖	64	準備・セッティング・片付け方法 長襦袢の着せ方(補正～長襦袢タイム計測) 裾の合わせ方、衿の合わせ方、おはしよりの作り方 裾・衿合わせ・おはしより復習→チェック→タイム計測→チェック→交代 帯の結び方～帯枕まで(着物着付→デモ→実践→チェック→交代) 留袖トータルの仕上がり、タイム計測(実践→チェック→交代) 確認テスト
振袖①	32	補正・長襦袢の着せ方、裾・衿の合わせ方(デモ→実践→チェック→交代) 振袖の着せ方復習、帯の結び方～帯枕まで(着物着付→デモ→実践→チェック→交代) 振袖トータルの仕上がり、タイム計測(実践→チェック→交代) 振袖トータル確認 確認テスト
白無垢②	56	白無垢とは 補正のつくり方、補正の仕方デモ・実践 長襦袢の着せ方(衿・裾)デモ→実践→チェック→交代 掛下(衿・裾)合わせの仕方 補正から掛下復習、タイム計測 実践→チェック→交代 帯の結び方～帯枕まで 掛下着付→デモ→実践→チェック→交代 帯の結び方～仕上げまで 筥迫・懐剣・末広・抱え帯の付け方 掛下・5点セット復習、白無垢の着せ方、タイム計測、二人着付けの仕方 確認テスト 確認テストの結果を踏まえ弱点強化
振袖②	22	補正～長襦袢復習、振袖復習、帯結び復習 確認テスト 創作帯結び(変わり文庫、変わり立て矢)説明デモ

具体的内容		
項目	時間	内 容
留袖②	14	復習 体形による補正の仕方、体形による着付けの違いの説明 留袖トータル仕上がり、衿周りの強化、おはしよりの強化
紋付袴	24	紋付の知識 補正の付け方 デモ→実践→チェック→交代 長襦袢の着付け方、長着の着付け方 デモ→実践→チェック→交代 角帯の結び方 デモ→実践→チェック→交代 袴の着付け方、羽織の着付け方 デモ→実践→チェック→交代 トータルタイム計測 確認テスト 確認テストの結果を基に弱点強化
白無垢②	24	補正の復習、長襦袢の復習、掛下着付けの復習 実践→チェック→交代 掛下帯の復習、白無垢の羽織らせ方の復習、タイム計測 実践→チェック→交代 確認テスト 確認テストの結果を基に弱点強化
女袴	22	女子袴の知識、道具の理解 補正の仕方、長襦袢の着せ方、着物の着せ方 デモ→実践→チェック→交代 半幅帯の作り方、袴の着せ方、タイム計測 デモ→実践→チェック→交代 確認テスト 確認テスト結果を基に弱点強化
衿付け	12	着物の知識 裁縫の理解、半衿のつけ方(アイロンかけ、待ち針うち、縫い付け)
引き振袖	36	補正・長襦袢の復習 デモ→実践→チェック→交代 引き振袖の着付け方 デモ→実践→チェック→交代 帯の結び方、5点セットの付け方 デモ→実践→チェック→交代 確認テスト、復習
振袖③	32	帯アレンジの作り方 デモ→実践→チェック→交代 帯アレンジ(訪問着用)の作り方 デモ→実践→チェック→交代 復習確認テスト 帯揚げアレンジ 帯締めアレンジ
帯結び	6	二重太鼓 実践→チェック→交代
留袖③	45	帯アレンジ(訪問着) デモ→実践→チェック→交代 確認テスト 復習

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	知識(ブライダル知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	61	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ブライダルに関する基礎的な知識・衣装・ヘアメイクに関してを学ぶ。また、その知識や他の授業で学ぶ、衣装やヘアメイク等の技術を連動させ、お客様の要望をうまく引き出せるようなカウンセリング力、接客力も同時に向上できるような授業を行う。
授業の到達目標	洋装・和装、婚礼衣装の基礎知識の理解、ヘアメイク・衣装のカウンセリング力の習得、フォーマル衣装の知識、ブーケ・お花の知識の習得、アテンドの知識の習得を目標とする。

No.	具体的内容	
	項 目	内 容
ブライダル業界	2	ホテル、式場、ゲストハウス、レストランの特徴 ブライダル関連企業についての理解
婚礼衣裳業界について	1	衣裳の時代変化、業界の1年の流れ
式の種類	1	挙式のスタイルの知識説明・理解
挙式の知識	2	キリスト式の流れ説明 人前式の流れ説明
披露宴	2	披露宴の流れ、説明・理解
一般常識	1	一般常識の説明、理解
接客について	3	接客用語、接客所作、相モデル実施 確認テスト
ドレスコード	3	正礼装、準礼装、略礼装の説明 男女別に理解 親族とゲストの衣裳の違い
新婦の衣裳知識	3	花嫁きものの種類の説明、理解 髪・かんざし・小物の説明・理解
新郎の衣裳知識	4	新郎の洋装の種類と説明、理解 和装、小物の説明、理解 確認テスト
参列者の衣裳	3	着物の種類とTPOの説明、理解
コーディネート知識	2	基本的なコーディネートの説明、理解
復習	2	テスト対策
ブライダルフラワー	1	種類の知識、生花と造花の違い
お花の知識	3	ブライダルでよく使用するお花の種類、色の合わせ方の知識の説明・理解 アイテムの種類、ヘッドパーツの説明
写真撮影	4	撮影の知識 洋装和装の立ち位置、衣装の見せ方
アテンド	6	挙式アテンド知識 披露宴アテンド知識
予約台帳	2	ドレスタグ、在庫、管理の仕方 列席予約の取り方
ディスプレイ	2	洋装和装のディスプレイ説明
当日の流れ	2	ヘアメイクリハの流れ、施行当日の支度時間の使い方

No.	具体的内容	
	項 目	内 容
サロン料金	6	サロン内部料金の説明・理解 サロン外部料金の説明・理解 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(パーソナルカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	50

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	色に関する知識を学ぶ。似合う色の根拠を把握し、目的に応じた色の演出効果を理解することで、お客様一人一人の似合う色(衣装の提案等)の提案をできるような技術を当該授業にて身に付ける。検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	色についての基本的な知識の理解、色の知識をその他の授業の中で役立て衣装の提案等に活用できるようになること。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
基礎学科	19	パーソナルカラーとは何か:板書、解説 色が見える光の条件:板書、解説 色が見える物体の条件:板書、解説 色が見える視覚の条件:板書、解説 色の基礎知識 色の三属性:板書、解説 PCCS表色系について トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン フォーシーズンンの色の解説 フォーシーズンンの特徴の解説 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色 色相、トーン配色の演習 色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 復習、確認テスト
実技基礎	8	パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピングとは(解説) ドレーピングのやり方(デモ) カラー診断の実習 フォーシーズンンの見本帳の作成
実技	4	フォーシーズンンのヘアメイクカラー 配色技法の演習
模擬問題	6	色の見極め(問題作成) 問題実施 問題の解答と解説 復習プリント
模擬試験	13	過去問題、解答解説、総まとめ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(ユニバーサルマナー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	8	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
－	－

授業内容	
授業概要	高齢者や障がい者に歩み寄れるようなスキルや知識、こころづかいを身につける。 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。 検定の合格。

具体的内容		
項 目	時間数	内 容
ユニバーサルマナーとは	2	ユニバーサルマナーとは 高齢者や障害者への向き合い方 どんな人がどんなことに困るのか？ 困った時のお声がけ方法
知的障害者・精神障害者サポート	1	知的障害者・精神障害者へのサポート方法
グループワーク	1	シーン別のケーススタディ(グループワーク)
車いす利用者サポート	1	車いす利用者への実践的なサポート方法
視覚障害者・聴覚障害者サポート	1	視覚障害者、聴覚障害者への実践的なサポート方法
高齢者サポート	1	高齢者への実践的なサポート方法
試験前の総復習	1	今までの復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	サロン	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	40	444	4

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	実際にお客様への接客や、技術提供をすることで実践的な経験を積むことができる。 また、単体で動くのではなく、組織として役割を持ちその中でどう動くのかを自ら考える力を本授業で学び向上させていく。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営に関しての理解することを目指す。

具体的内容		
項目	時間	内 容
サロン授業	176	説明(サロン実習の目的、今後の流れ) 業務内容 使用書類の使い方の説明・理解、外部発注の流れ(生花) 新規接客の流れ説明・理解、新規接客シミュレーション 衣裳・ヘアメイク打合わせの流れの説明、理解、シミュレーション ヘアメイクリハーサルの流れの説明・理解、シミュレーション 洋装和装撮影アテンド・ポージング方法 復習 接客内容フィードバックを基に弱点強化 衣裳メンテナンスの仕方(洋装和装) 挙式・披露宴アテンド 改善点共有
接客テスト	12	トータルでの入客シミュレーション
サロン実習	300	運営の仕組みの理解、数字への意識 お客様への気配り、接客力 振り返り、レポート作成

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間のコミュニケーション向上。 ・コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。 ・イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	13	17	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内 容
サービススタッフの資質	2	サービススタッフに求められる資質
専門知識	3	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用句、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	3	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	3	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	4	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	4	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	4	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	18	88	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項 目	時間	内 容
業界知識	2	業界の現状、職種・業種について
活動の流れ	2	3年間の流れ、今後のポイント、過去(卒業生)の実績
インターンシップ説明	2	インターンシップの魅力・重要性、過去の実例
書類関連	15	履歴書とは、基本と実例(魅力的な文章、構成、志望動機、自己PR 自己分析、その他応募書類)
自己分析	14	自らがなりたい未来を分析、ミライ年表の作成 自身の振り返り、自己PR キャリアプランニング、他己分析、自己PRの整理
ビジネスマナー	1	身だしなみ、電話のかけ方、メールの送り方
企業研究	9	各業種・職種の復習 各サイトの紹介、登録、企業研究とは、レポート、プレゼン 企業情報を集め、何社かピックアップし志望動機を書く
面接	49	面接とは、身なり、身振り、言葉遣い 実践練習(集団・個人面接) グループディスカッション 振り返り
証明写真	1	履歴書用 証明写真について
ランク分け授業、面談	5	生徒の希望や能力に分けて授業を行う 面接、履歴書作成、面談
受験準備	6	エントリー・受験がすぐにでも行えるよう準備をする。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	選択(1年生研修)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	30	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	新しく入学してきた生徒に対し、学校生活の基本及びクラスメイト、教員との「絆」づくりをテーマとする。
授業の到達目標	「絆」づくり＝「居場所」づくりを行い、学校生活の楽しさを理解させ退学者低減目標とする

具体的内容		
項 目	時間数	内 容
自己紹介・教材配布・年間学校スケジュール	6	1人2分で自己紹介を実施 教材の配布、及び使用計画の説明 行事中心に「行事」「検定」「試験」等の目的と到達目標の説明
学校規則・ルール・掃除方法レクチャー	6	学校生活の基本となる、規則・ルールの理解。 接客サービス業内での「掃除」の重要性を指導
業界セミナー・夢シート発表	6	業界の動向、求められる人材などの説明 自身の「夢」のレポート作成・発表
コミュニケーション	6	各グループ毎に、「アクティビティ」を実行。コミュニケーションを深める
挨拶訓練・指導	6	自身の挨拶と、求める挨拶の違いを知る。 目指す「挨拶」の指導→訓練→指導を繰り返す

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。